

Contents

- ▶ 三重サステナブル経営アワード受賞企業による授業実施
- ▶ 朝明溪谷源流部のブナ林調査保全活動実施
- ▶ 「地域連携環境講義」でChojiさんが講演・演奏
- ▶ 学内の「竹林保全実習」を実施

- ▶ 「海と日本プロジェクト」第1回長良川ごみ調査に参加
- ▶ 東海財務局津財務事務所と連携協定による「金融教育」を実施
- ▶ 本学留学生が詐欺被害防止で感謝状
- ▶ テニス部の学生がインカレ出場決定！

三重のサステナブル経営アワード受賞企業による授業実施

三重県では、「三重のサステナブル経営アワード」という県内企業のモデルとなる持続可能性の高い企業を毎年募集し、表彰している制度があります。総合政策学部では、この表彰された企業の方を講師として特別授業を実施しています。5月17日（水）には株式会社オオコーチ、5月31日（水）には河村産業株式会社、6月7日（水）には株式会社北村組の企業の方を講師にお招きしました。企業ごとに異なる課題についてグループワークを行い、それぞれ意見を出し合い発表します。学生たちには三重県内の企業を知る機会となり、それぞれの企業の良さや課題など、実学ならではの学びの時間となりました。



朝明溪谷源流部のブナ林調査保全活動実施



朝明溪谷源流部のブナ林保全活動は、四日市大学自然環境教育研究会と環境情報学部の有志教員で進めています。活動内容は、ブナの実生調査（獣害、虫害調査）、ブナの苗の群生調査、ルリクワガタなどのブナ林の昆虫・動物調査、ブナ林の群落調査、ブナ枯れ分布調査などです。調査は月2回程度のペースで行っており、本年度は5月27日（土）に第1回目の保全活動を行い、以降は、6月17日（土）、6月27日（火）と実施しています。6月27日の活動では、温湿度計をブナ林内8か所に設置し、温湿度分布を知ることでブナ稚樹の移植適地やブナ枯れの原因解明に役立てます。

「地域連携環境講義」でChojiさんが講演・演奏

地域で環境問題に取り組む方々をお招きして、リアルな環境問題を学生にお話しいただく「地域連携環境講義／地域環境論」ですが、6月9日（金）の講義に音楽家のChojiさんをお迎えしました。Chojiさんは津市美杉町の里地で農業に取り組みながら、その暮らしや人々との交流の様子を音楽にして発信されている方です。当日の授業は本学のスタジオで行われ、自己紹介から始まり、美杉町に住むようになった経緯、少子高齢化と人口減少と耕作放棄地の問題、それに関連したメガソーラー建設問題、緩効性肥料の使用状況、農薬などによる生物の変化など、現在の里山環境の諸問題について、ご経験を踏まえて分かりやすくお話しいただきました。その後、6曲をご披露いただきました。四日市大学が誇るスタジオでの演奏は迫力満点で、いつもとは違う授業内容に、学生たちも心を動かされたようでした。

学内の「竹林保全実習」を実施



本学の敷地内には、竹林があります。環境情報学部の1年生の必修科目である「環境情報学概論Ⅰ」の授業で、学内の竹林整備を行っているNPO法人PPK四日市（代表：植松正弘氏）の方々を講師として、「竹林保全実習」を実施しました。竹はその他の木々よりも成長が早く、放置すると人が入れないぐらいに増えてしまい、増えた竹が日光を遮り他の植物を枯らすなどの悪影響が出ます。受講生69名を6グループに分け、竹の伐採、切り分け、枝打ち、野積み等、竹林整備の一連の流れを体験し、整備後は竹の子堀りも行いました。

「海と日本プロジェクト」第1回長良川ごみ調査に参加



6月10日（土）、岐阜放送主催の「海と日本プロジェクト」第1回長良川ごみ調査が行われ、環境情報学部の千葉研究室3・4年生の8名が参加しました。当日は少し蒸し暑い中での活動となりましたが、無事に予定通りの調査を実施することができました。この活動は、岐阜県民の方に海洋ごみ問題にもっと関心を持ってもらうことを目標に行われています。この調査で得られたデータからごみマップを作製したり、啓発ビデオを制作したりして、岐阜県内向けに発信されるとのことです。

東海財務局津財務事務所と連携協定による「金融教育」を実施

本学は、東海財務局津財務事務所と連携協定を結び、「金融教育」を実施しています。第1回講義では、「ライフデザインと資金調達」をテーマに、人生の計画をあらかじめ立てることの大切さを知り、どのように備えていくかについて学びました。グループワークでは、「将来住む家は賃貸にすべきか、所有にすべきか」についてメリットとデメリットを考え、発表しました。その後、「資金調達」については、事業に必要な資金をどのように準備するのかを通じて、銀行、信用金庫などの金融機関が会社とどのように関わっているのか、その役割について学びました。



本学留学生が詐欺被害防止で感謝状



4月6日（木）、本学の留学生スベディ スニルさん（環境情報学部3年生／ネパール出身）が、特殊詐欺被害を未然に防止したとして、三重県四日市南警察署から感謝状を贈呈されました。署によると、2月5日（日）午後7時20分ごろ、アルバイト先のローソン四日市中川原店を訪れた男性が、5万円のプリペイドカード購入を申し出たのを不審に思ったスベディさんがオーナーに知らせ、男性が話した内容から特殊詐欺を疑い、警察に通報するなど適切な対応で被害を未然に防いだということです。スベディさんは、「特殊詐欺はネットなどで知っていた。翌日、来店した男性がありがとうと喜んでくれてうれしかった」と話しました。

テニス部 谷川大雅さん、室井卓海さんがインカレ出場決定！

5月10日（水）に開催された「第73回東海学生春季テニストーナメント大会（岐阜メモリアルテニスセンター）」に出場した谷川大雅さん（総合政策学部4年）、室井卓海さん（環境情報学部2年）が、激戦を制しトーナメントを勝ち上がって8月に開催される全日本学生テニス選手権大会（インカレ）に出場することが決まりました。谷川さんは3年連続の全国大会出場。初の全国大会の切符を手にした室井さんと、力を合わせ全力で戦うことを誓いました。長谷川監督は「これまでの谷川選手の経験を後輩の室井選手はしっかり引き継いでもらいたい。そして、谷川選手にとっては学生最後の大会になるので、楽しんで全国の強豪と戦ってもらいたい。」と力強く抱負を語りました。



※本号は2023年4月から6月までの情報を中心に掲載しています。

